



ひびき

Letter of the M.Y. elementary school

南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.339
令和6年度 11月号
令和6年10月31日

「未来を切り拓く力」

副校長 片山 達矢

- Aさん：「商品の値段が高いと売れないんじゃないかな？」
Bさん：「会社の利益を考えると、この値段設定しかないような…」
Cさん：「でも買ってもらえないと、赤字になって銀行にお金を返せなくなるな～」



この会話は、5年生が9月から6人で1つの会社をつくり、南山田小30周年の記念グッズ販売を想定した起業から決算までの活動を通して、自分に自信をもって未来を切り拓く力を育むことを目的とした「会社経営体験プログラム」の一場面です。

この日、実際の銀行の方たちをお招きして、自分たちの商品をプレゼンテーションして融資を受け、その資金で記念グッズの材料を問屋で買う活動を行っていました。



融資の交渉も本番さながら。

プレゼンをしても自分たちが融資してほしい金額に届かず、何度もチャレンジしている姿や、記念グッズとして必要な材料が問屋では売り切れてしまい、どうしようか考えこむ姿など、様々な力を駆使して粘り強く取り組んでいる子どもたちの眼は真剣そのものでした。

このプログラムの終わりは、「決算・振り返り」。

赤字だったのか、黒字だったのかを明確にし、その上で、「なぜそのような結果になったのか」を考え、自分たちの事業のプロセスの中で、改善すべき点まで辿り着くことです。

この予測困難な時代に、このような経験を重ねていくことで、社会を生き抜くのではなく、社会を創っていく（未来を切り拓く）力が育まれるのではないのでしょうか。

どんな商品がどのような結果になるか、楽しみです。